

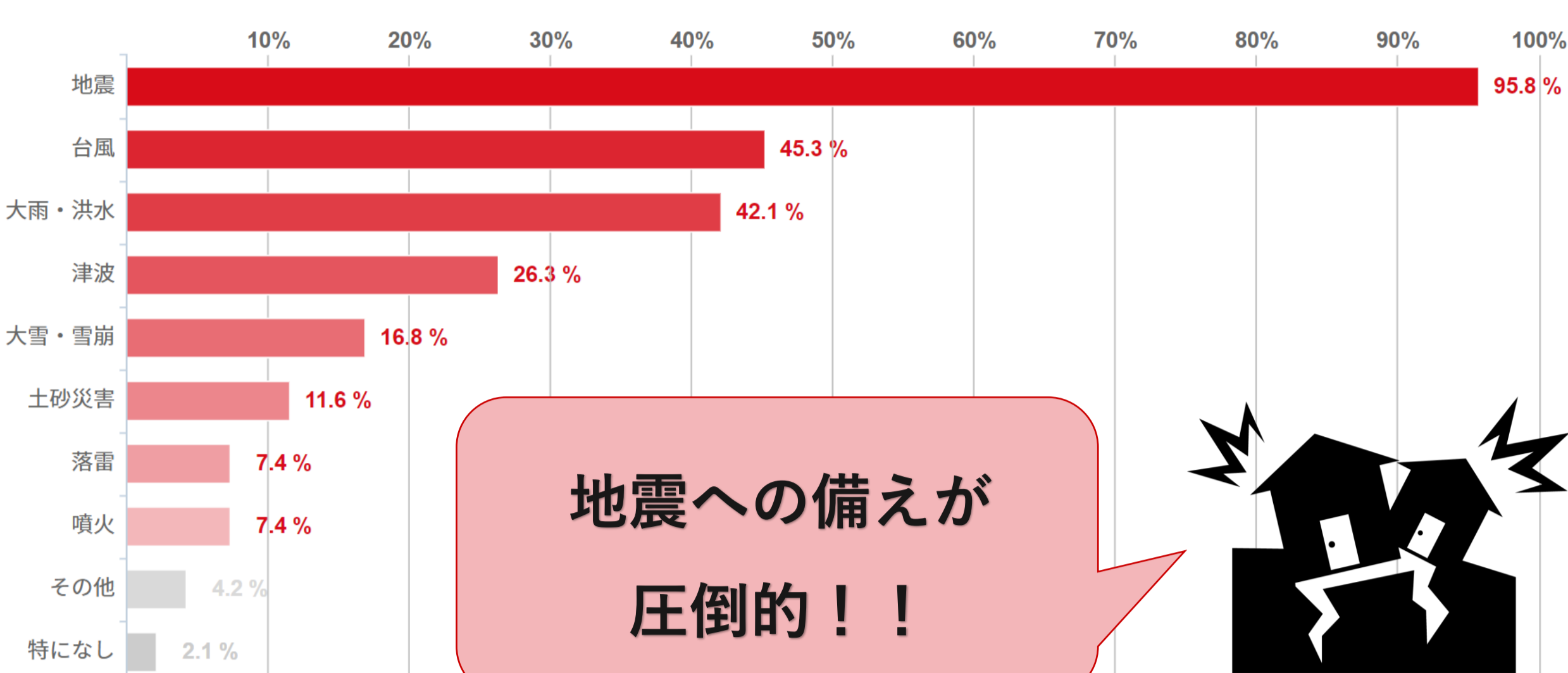
防災に関する調査結果

【回答期間】

2022年1月24日～2022年3月14日

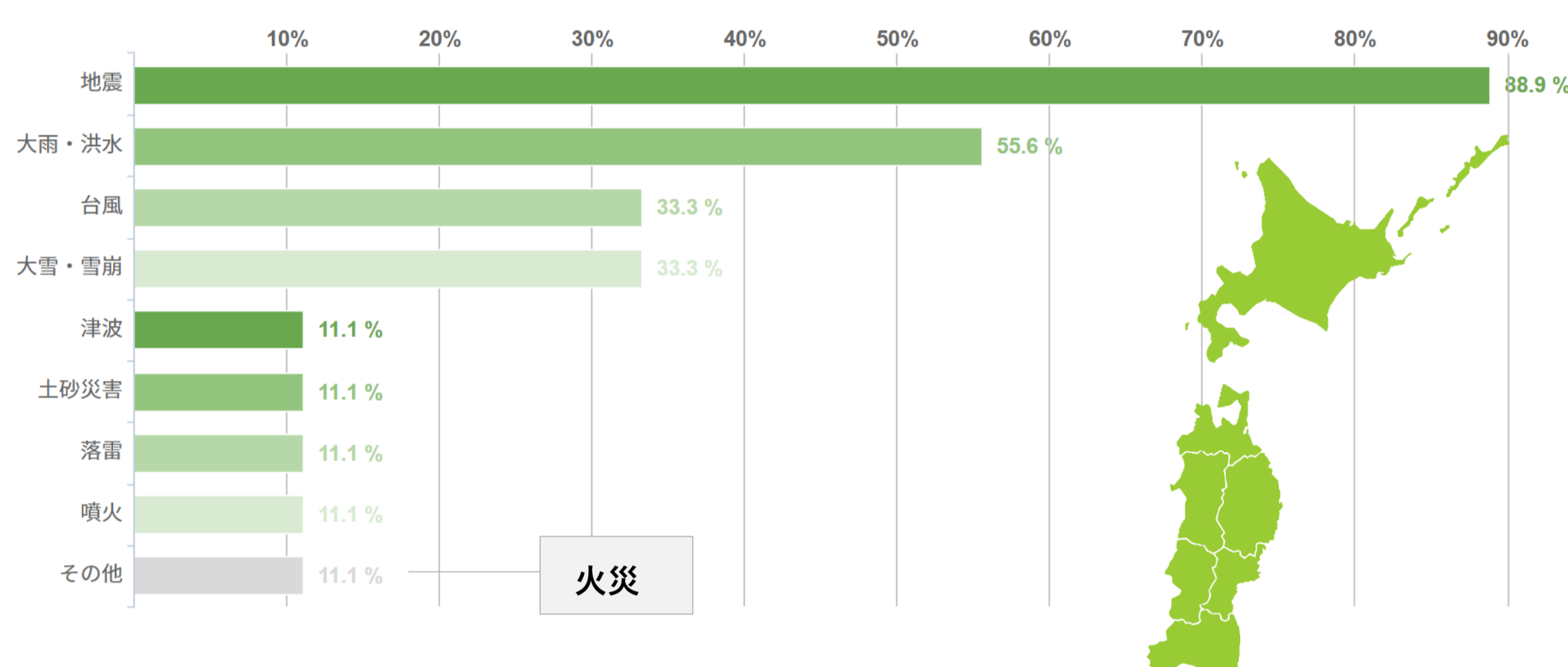
▼ 備えが必要だと思う災害

全体

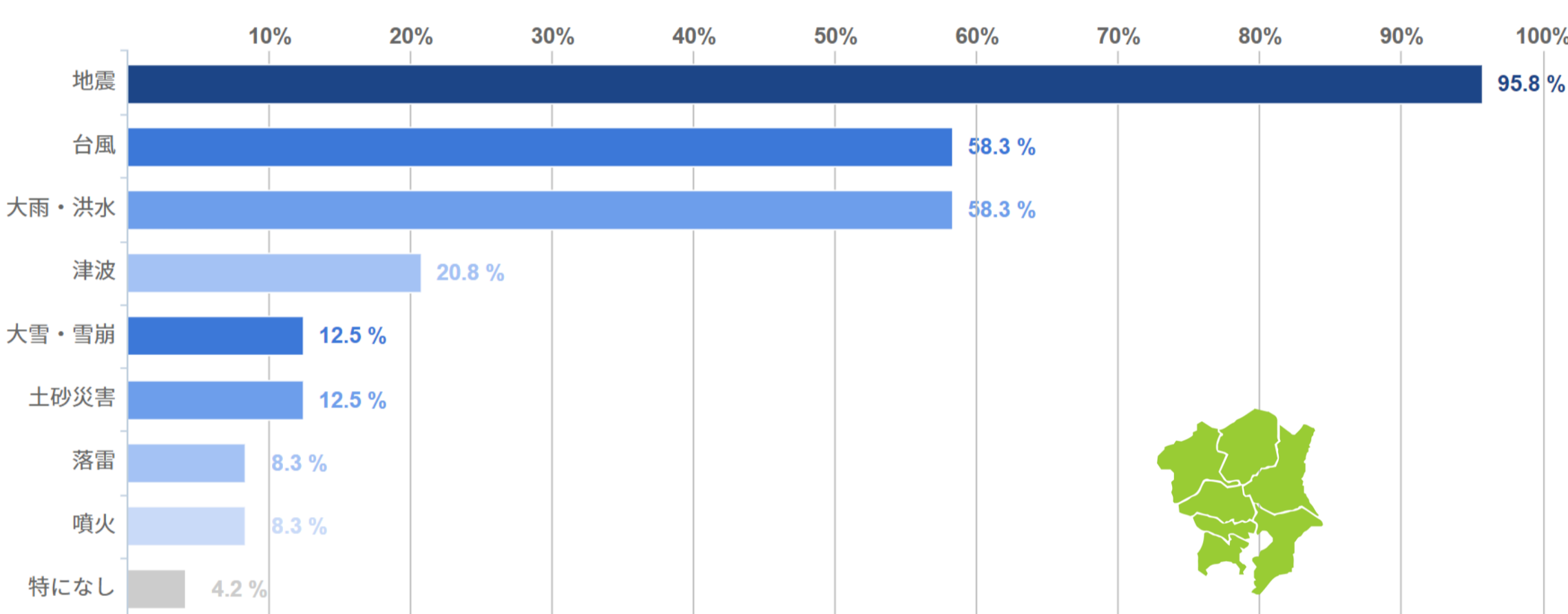


地域別

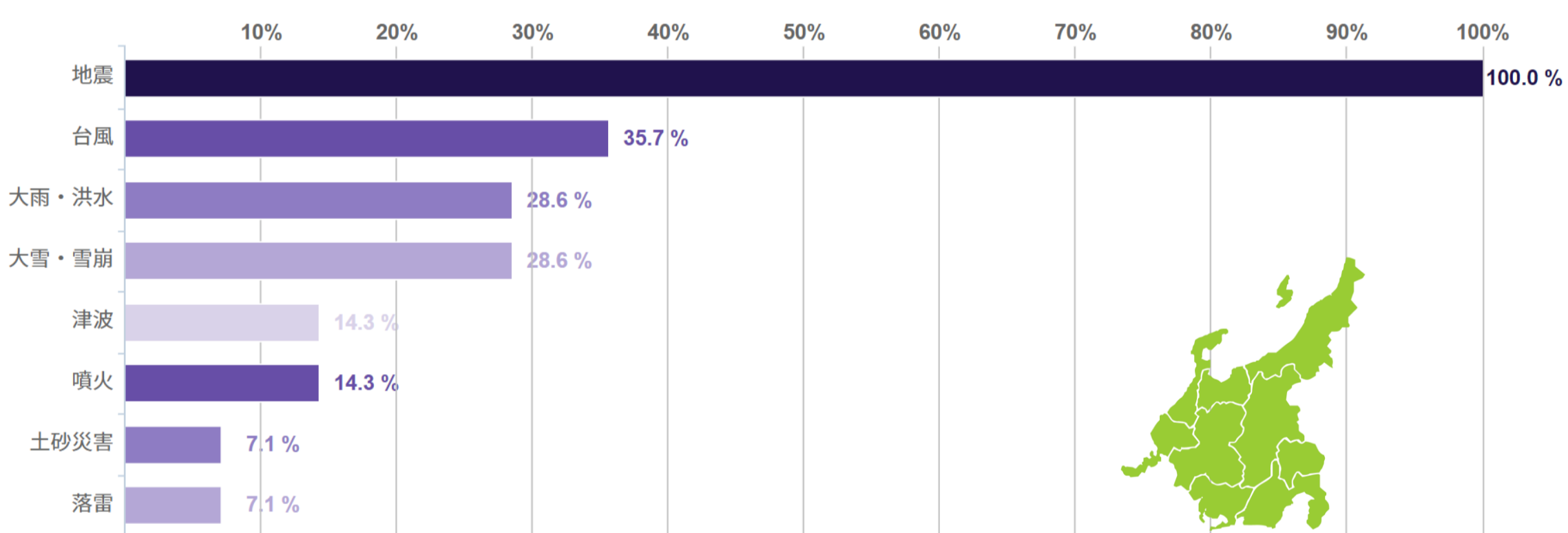
北海道・東北



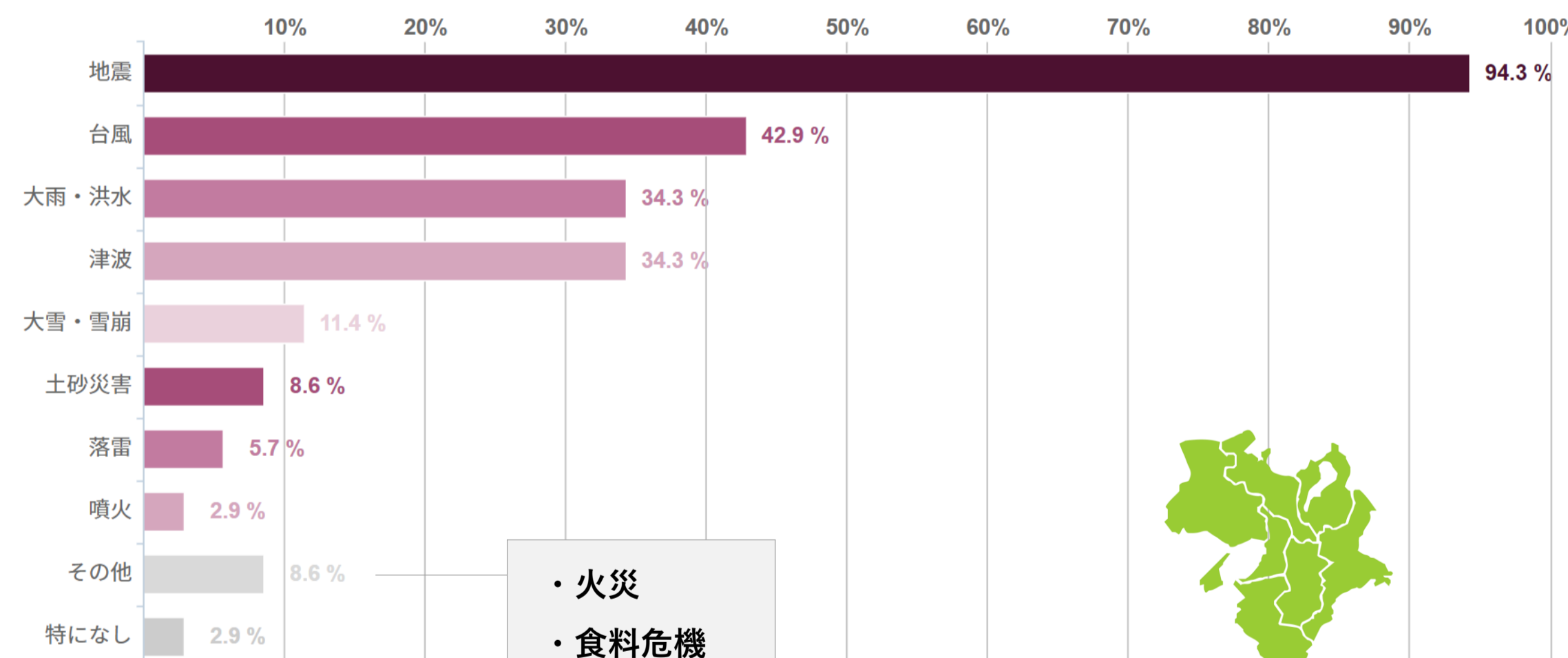
関東



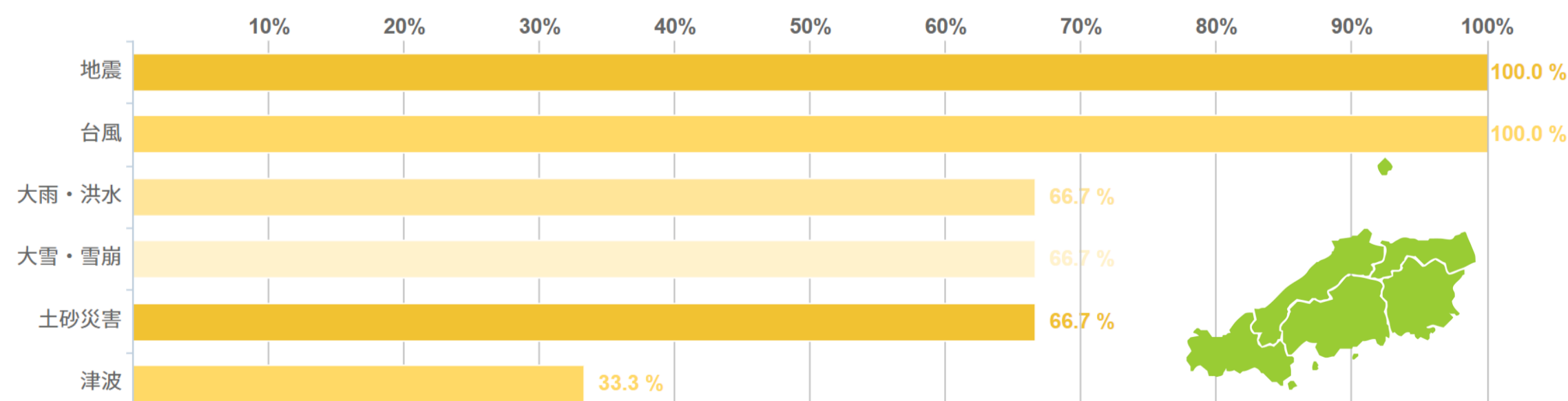
中部



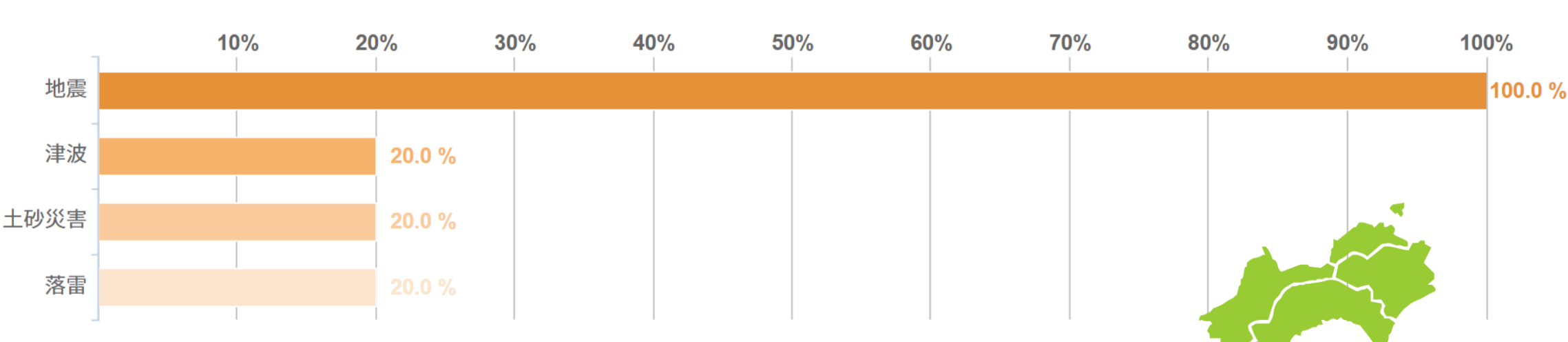
関西



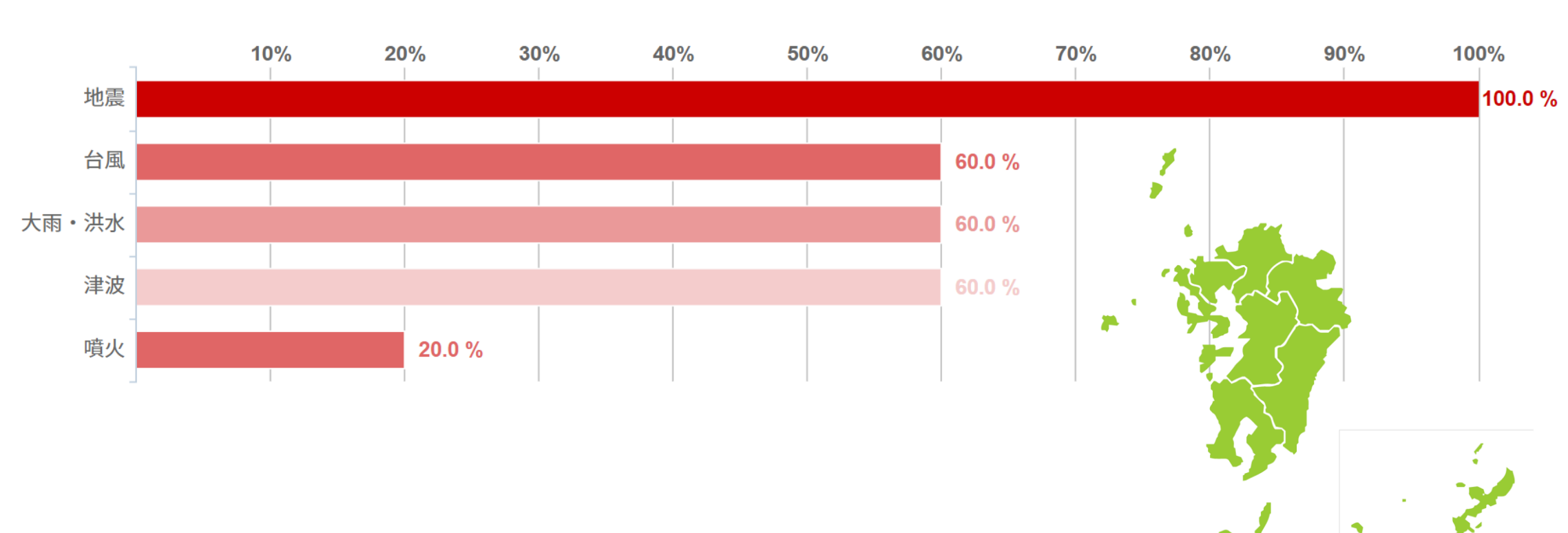
中国



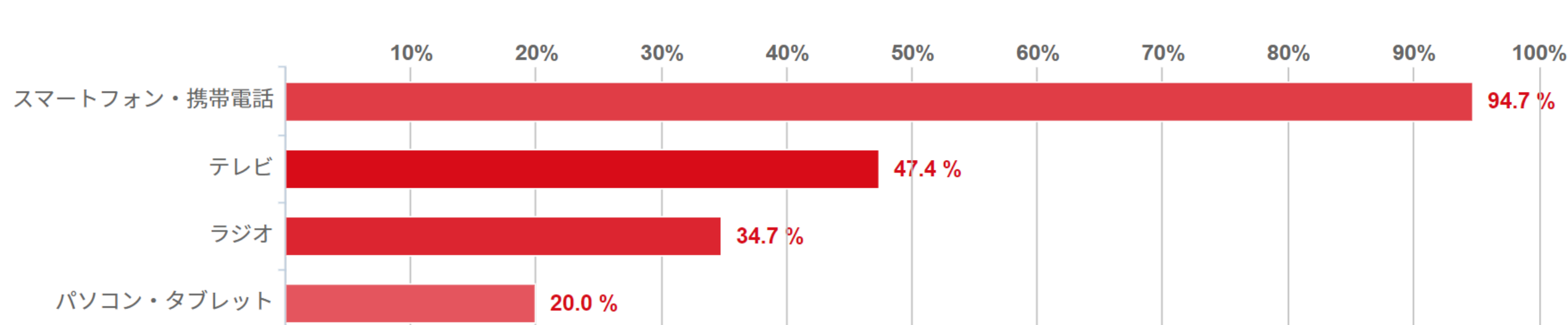
四国



九州・沖縄



▼ 災害時の情報収集手段



災害時、必須の情報収集ツールは
ほとんどがスマホ・携帯！
テレビも約半数が活用している！



▼ 情報収集に活用するサイト・アプリ

ブロックをおすと
詳細ページがチェックできます！



アプリ

速報・通知

ゆれくるコール

Yahoo!防災速報

特務機関NERV防災

ニュース・情報収集

Yahoo!天気・災害

NHKニュース・防災アプリ

Yahoo!ニュース

グノシー

radiko (ラジオ)

スマートニュース

検索ツール

Googleアプリ

主要SNS

Twitter防災活用法

LINE防災時の活用法

サイト

内閣府 | 防災情報のページ

警視庁 | 安全な暮らし

ウェザーニュース

NHK | あなたの天気・防災

災害用伝言板 (web171)

そのほか

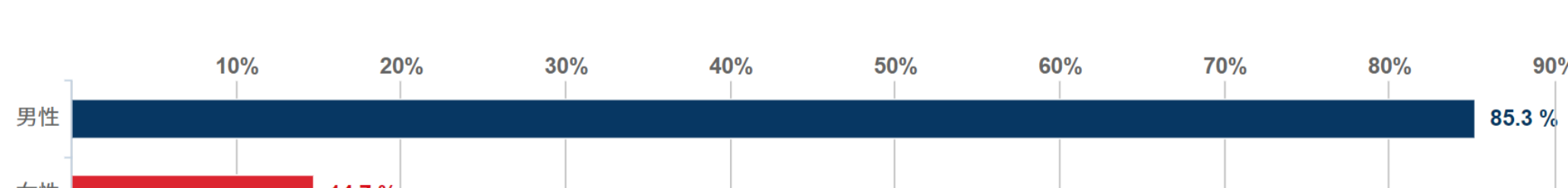
災害用伝言ダイヤル (171)

- 災害情報案内（電話サービス）
※各市区町村の番号をご確認ください
- 住んでいる都道府県・市区町村のHP
- au避難マップ
- 携帯購入時に元々入っていたもの
- この機会に調べてみようと思う

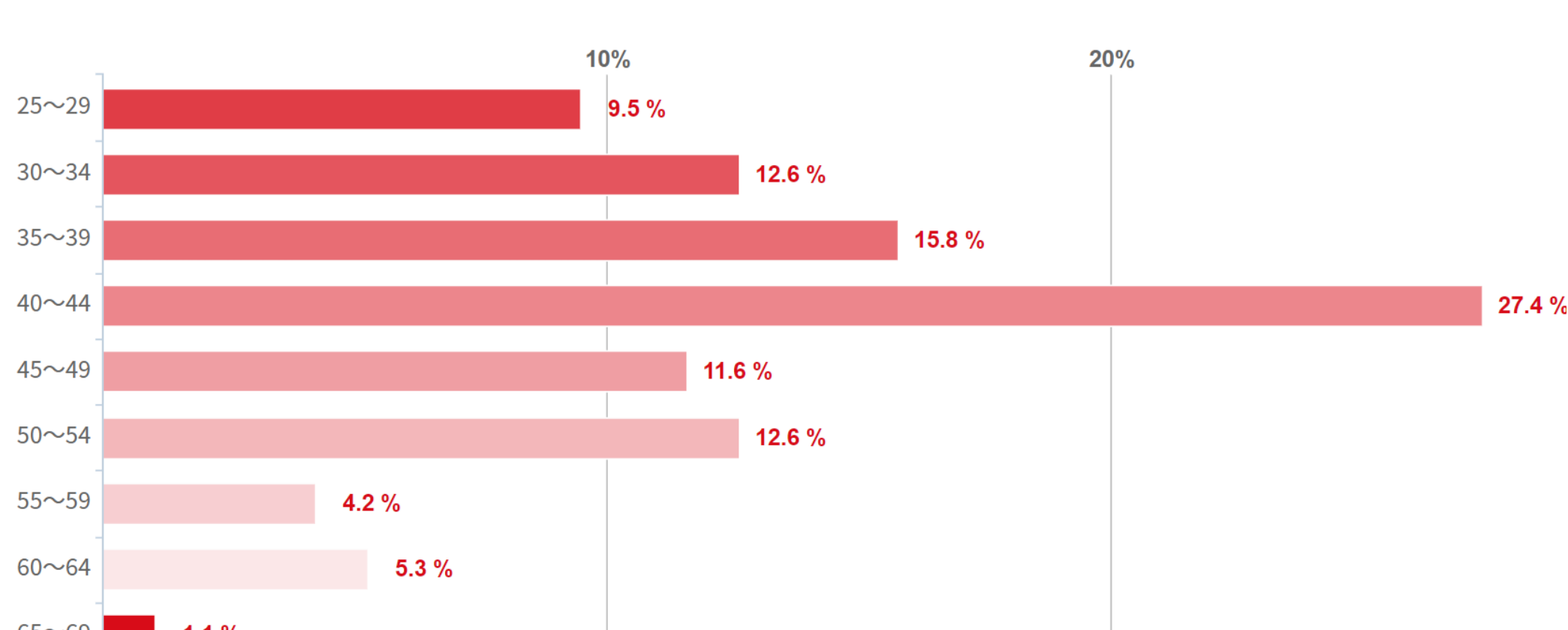


本調査の回答者属性

▼ 性別



▼ 年齢

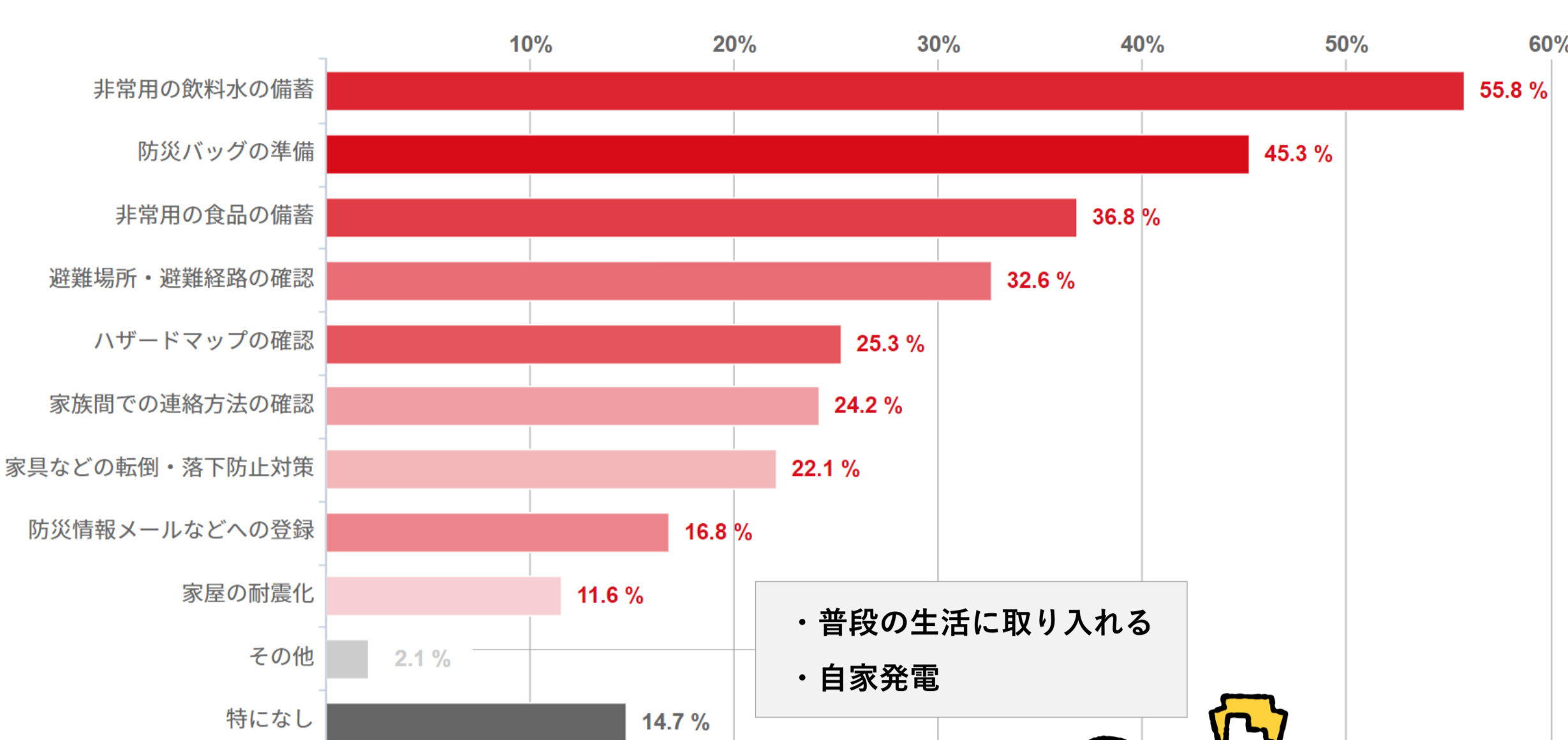


防災に関する調査結果

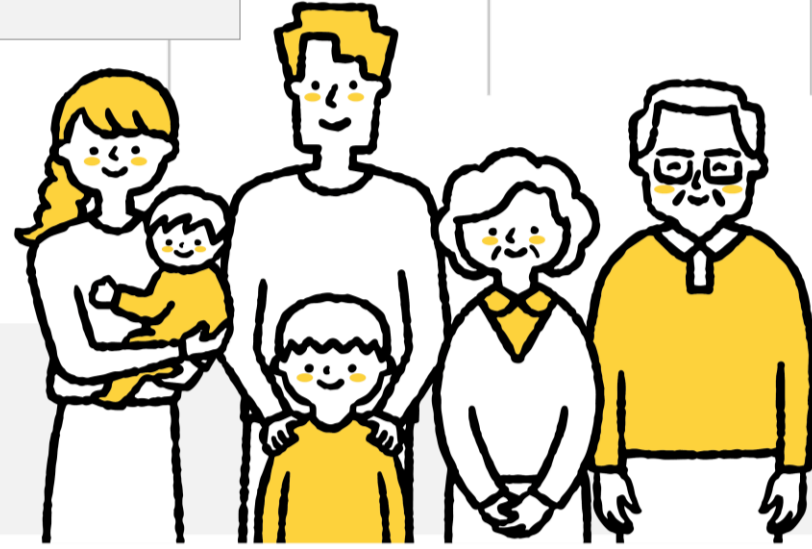
【回答期間】

2022年1月24日～2022年3月14日

▼ 家庭で実施している防災対策



・普段の生活に取り入れる
・自家発電



— 具体的に...

水・食糧の備蓄

量はどのくらい...?

- 5年保存の水 24ℓ
- 非常用の水 2ℓ×10本 (20ℓ)
- 2週間は生活できるよう準備
- 1ダースいつも用意している
- 1ℓの水を常に24本用意 (24ℓ)
- 72時間キットとして家族分を備蓄
- 水は常に2ケース確保
- 水 (2ℓ×12本)、3日分の食料をローリングストックしている
- 非常用に水 40ℓを常に用意
- 非常用の水、数日間の非常食を用意
- ミネラルウォーターを1年分
- 非常用にペットボトル 2ℓ×6本入りの箱を16箱 (192ℓ)
- 水 40ℓ



- 水 2ℓ×12本 (24ℓ) 常備
- 家族3人で3日分の非常食
- 飲料水も少量だが12ℓ、車にも12ℓ常備
- 水は毎月頼んでいてストックが常にある状態
- トイレに2ℓの水を何本か置いている
- 水を1ℓ×6本 (これからしっかりと準備したい)
- 5年間保存水を2ℓ×6本 (12ℓ)
- 水 2ℓ×5本 (10ℓ)
- ウォーターサーバー用ボトルを2本用意
- 非常用に水 34ℓを保存、3ヶ月ごとに交換
- 5日分の食糧と水を定期的に保管、入れ替え
- 家族4人分×3日分の飲料水や生活水の確保
- 非常用に5年間保存可能な水を80ℓ用意 (1日4ℓ×5日×家族4人分)

食糧など...どんなものを用意してる?

- 常に水、米 (玄米と白米)、保存食を用意
- 缶詰、カップ麺、浄水ボトル等
- 非常食は乾パンとドライフルーツ (日頃から入れ換える)、お湯や水でできるお粥やカップ麺などの加工食品を用意
- 災害の時に水を持っていくのは難しいので水をろ過できるアイテムを置いている

- 普段の生活から防災でも使えるものを使う例) 穀物、乾物、調味料のローリングストック
- 調味料や発酵食品も“本物”を選べば、長期間保存できる (梅干し、味噌など)
- 乾パン、缶詰、アルファ米を物置に常備 (食料は足りないので買い足す予定)



管理・保管方法は?

- 非常用の水は定期的に交換
- 家族分の水・食料品・日用品をまとめて保管し、水・食料は期限がきたら交換

- 水や食料を普段から少し多めに置いておく
- ポリタンクに水の備蓄
- 防災グッズの定期的な点検 (賞味期限など←主に妻)

防災用品の準備

- カセットコンロ、カセットボンベ6本常備
- 精米器も購入、ラジオ、電気、ろうそくを常に置いている
- 電池、ろうそく、非常用トイレを物置に常備。
- 防災ピクニックなどで使い方に慣れておく
- 太陽光グッズの用意
- 防災バッグの用意
- 発電機と燃料の用意
- 非常時の懐中電灯やモバイルバッテリーは玄関先に
- ガスボンベは常に多めに買って置く
- キャンプ用品を防災時にも使えるようにしている
- カセットコンロ、ガスを大量に備蓄
- 2週間生活できるよう準備
- ガソリンをなるべく少なくしない



- 家族分持ち出しバッグの準備
- 各車に防災バッグ
- 電気を必要としない暖房器具の用意
- ティッシュはなるべく多めに買って、1週間分位は家にあるようにしている
- 懐中電灯や軍手などが入った防災バッグを買って安心
- 防災バックを寝室に置いている
- 防災バックを車と家に置いている
- キャンプ道具やLEDライト、ソーラー充電器などを持っている
- 携帯電話の充電用に、容量が大きめのバッテリーを使いながら、常に充電した状態で持ち歩くように心掛けている
- 懐中電灯を玄関と寝室に常備
- アウトドア用品など(ポリタンクや調理用バーナー)の用意
- 懐中電灯や電池、ラジオ、スマホ用のバッテリー、常備薬、ちょっとした食料やお菓子等

耐震、家具などの転倒・落下対策

- 食器棚につかえ棒
- 大型家具の固定
- 家具を固定
- 母屋建設時に制震性に優れた器具を取り付け
- 部屋の中は高さが低い家具のみで生活
- タンスなどは倒れないように手前に板を咬ませて、少し立て掛けるような角度にしている
- 自宅兼店舗のため、リフォームして耐震性アップ
- 出入口付近は、何も置かない

- 戸棚の開閉口に鍵をつける
- 自分の背丈より高いものは置かない (せいぜい腰位置)
- 本棚や棚の転倒防止 (突っ張り棒など)
- 大きな窓にシャッターを付けた
- 物を置かないようにしている
- タンスの転倒防止で突っ張り棒を設置
- 非常用縄梯の設置
- タンス等、背の高い家具は壁に頑丈にネジ付
- 冷蔵庫は倒れないように、天井の間に戸棚をはめこんでいる



連絡手段・情報共有

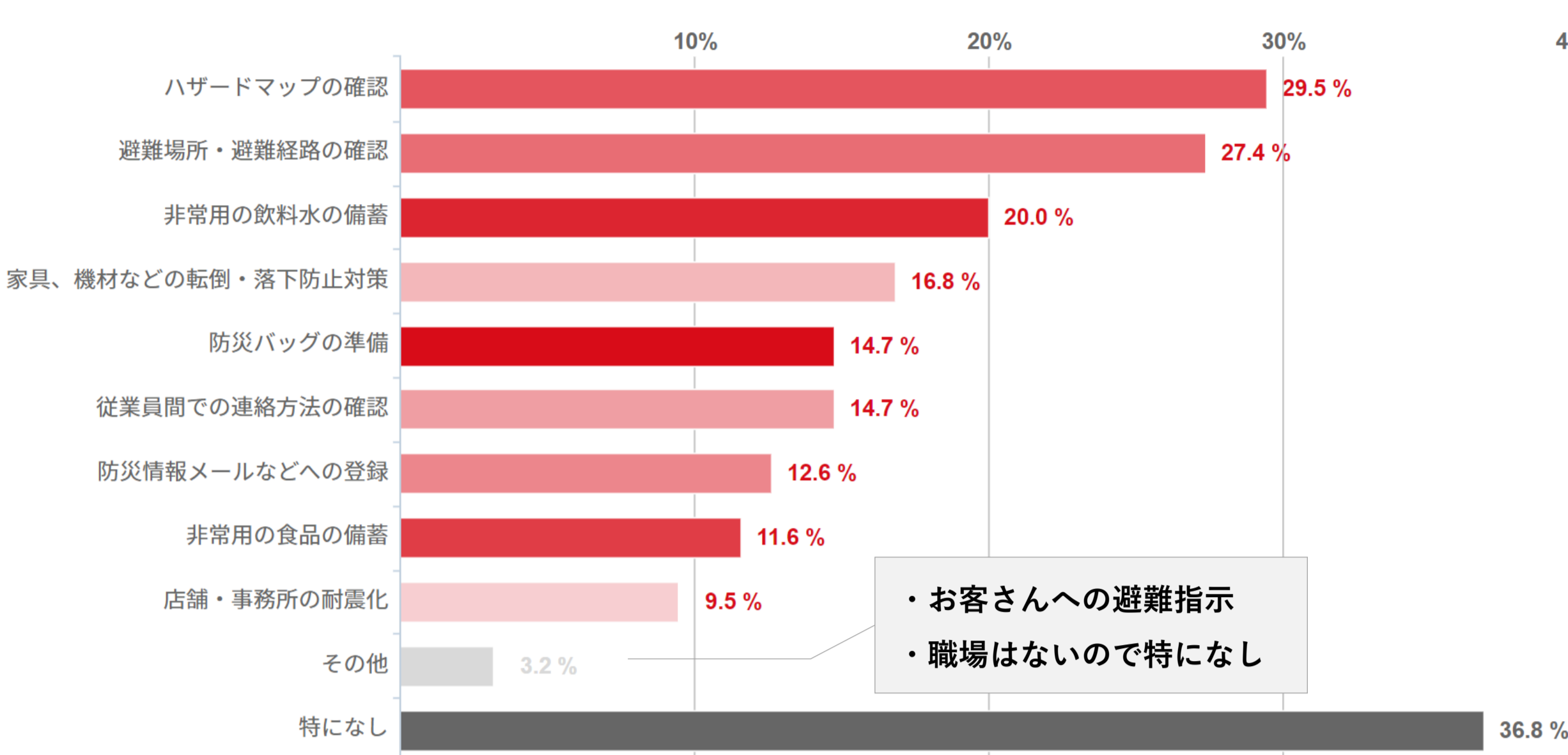
- 連絡についてはそれぞれLINE、電話番号を共有と回線が悪くなった時はSMS（ショートメール）やInstagramのDMなど利用
- そんなに災害が多い地域ではないが、家族との連絡の取り方は全国で災害が起きるたびに話している
- 家族の連絡先、自宅付近の集合場所の確認
- 家族の集合場所の共有

避難・情報取得

- ハザードマップ、避難場所などの確認
- 避難場所までの経路を確認
- 防災アプリを入れている



▼ 職場で実施している防災対策



避難するための対策
転倒防止対策などが中心！



— 具体的に...

防災用品・食糧・水のストック

- 飲料水ストック
- 非常用バッグの準備
- 水、缶詰の常備
- ヘルメットなど防災用品
- 水はサーバーで常備

- 非常食は各個人的に常備
- 販売業のため、食料関係は充実
- 車に缶詰めになる可能性があるため、食糧と水は用意

避難経路・避難場所の確認、周知

- ハザードマップの確認
- 各部屋の出口に避難経路が書かれている（現在ホテル住まいで仕事しているため）
- テナントの避難訓練
- 避難場所の確認
- お客さんへのお手紙に、お店での避難方法などをシェア

- 非常事態の時の通路を分かりやすくしている
- お客さんの避難経路の確保
- 避難場所を把握しておく（徒歩2～3分のところにある小学校）
- アルバイトの方達への情報の落とし込み
- 避難経路の確認

建物の耐震化／商品や家具の転倒・落下防止

- 大型家具の固定
- 転倒防止の固定具、ゲルマットでの固定
- 壊れやすい物、商品の転倒落下防止
- 建物の耐震化
- 安全な場所を確保
- リフォームでの耐震化

- 書類棚の金具留め
- 倒れないような物で揃えて、固定しておく
- 高い所にモノを置かない

緊急速報／安否確認

- LINEで安否確認
- 従業員の連絡を徹底
- 防災アプリをいれておく
- 連絡網はLINEが基本
- 従業員の生存確認の連絡
- 安否確認のシステムが存在
- 防災メールがくるようにしている（火災）



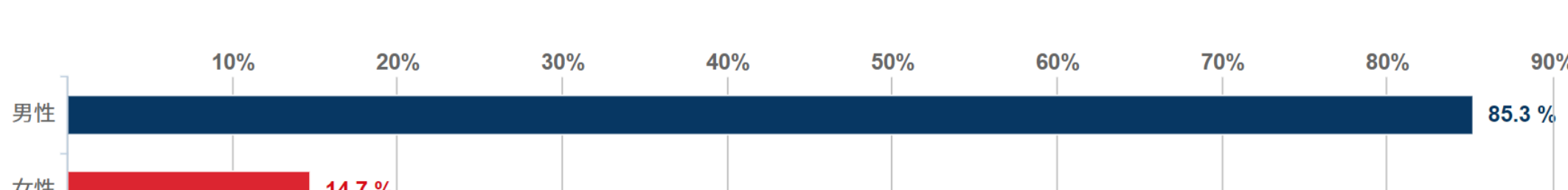
そのほか

- 店舗兼自宅のため店舗用としては特になし
- 家庭用の対策と同じ
- 仕事場は家の一部になっているため、防災用具は一緒
- お店は一階なので直ぐに避難できるためお店の防災対策は特に行っていない
- 地下にあるビル内のため、設備等は不透明
- 防災担当ではないので詳しくない

- 教育現場勤務のため、それなりに対策済
- 地盤が低く、大雨の時は道路が冠水しやすいので土嚢の用意
- ガソリンスタンドなので、耐震基準が高い

本調査の回答者属性

▼ 性別



▼ 年齢

